別添資料Ⅰ

平成 25 年 3 月 19 日

基本計画の成果指標の最新値について

成果指標（目標の到達度を測る指標）

新潟県における食の安全確保の取組が十分に行われていると感じる県内外の住民の割合　（新潟県「夢おこし」政策プラン（※）の指標と共通）

※）防災、福祉、産業など政策全般を盛り込んだ新潟県の最上位計画。

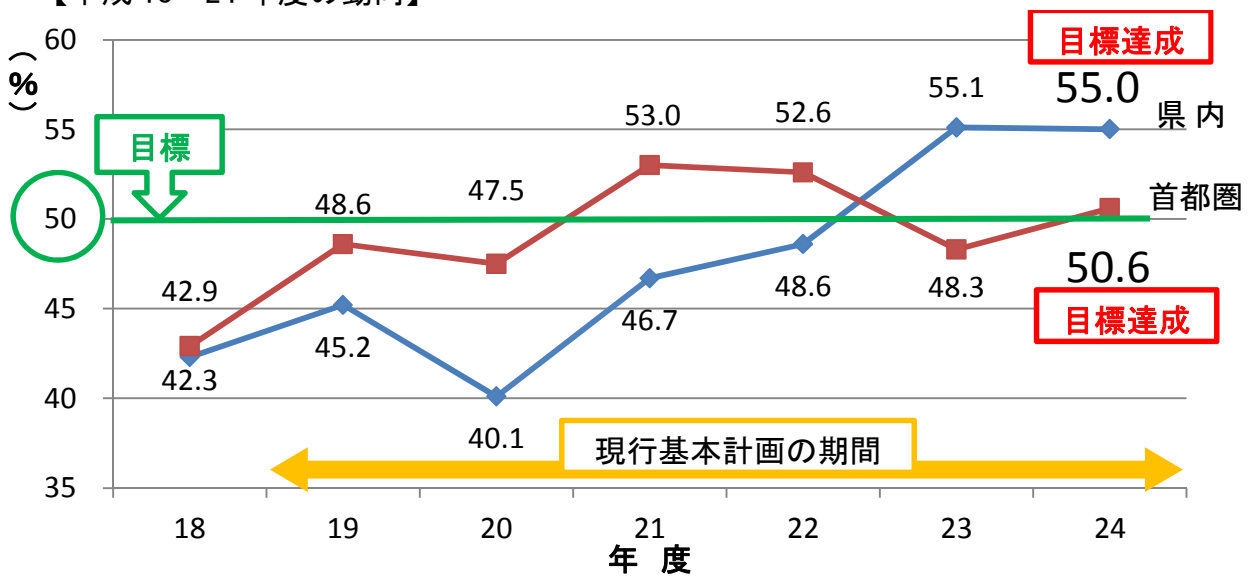
【把握方法】県民及び県外（首都圏）住民を対象とした意識調査により把握

問　新潟県における食の安全・安心の取組についてどのように感じていますか。
1　十分に行われていると感じている。
2　ほぼ十分に行われていると感じている。
} 1、2の合計を指標値とする。
3　どちらとも言えない。
4　やや不十分だと感じている。
5　不十分だと感じている。

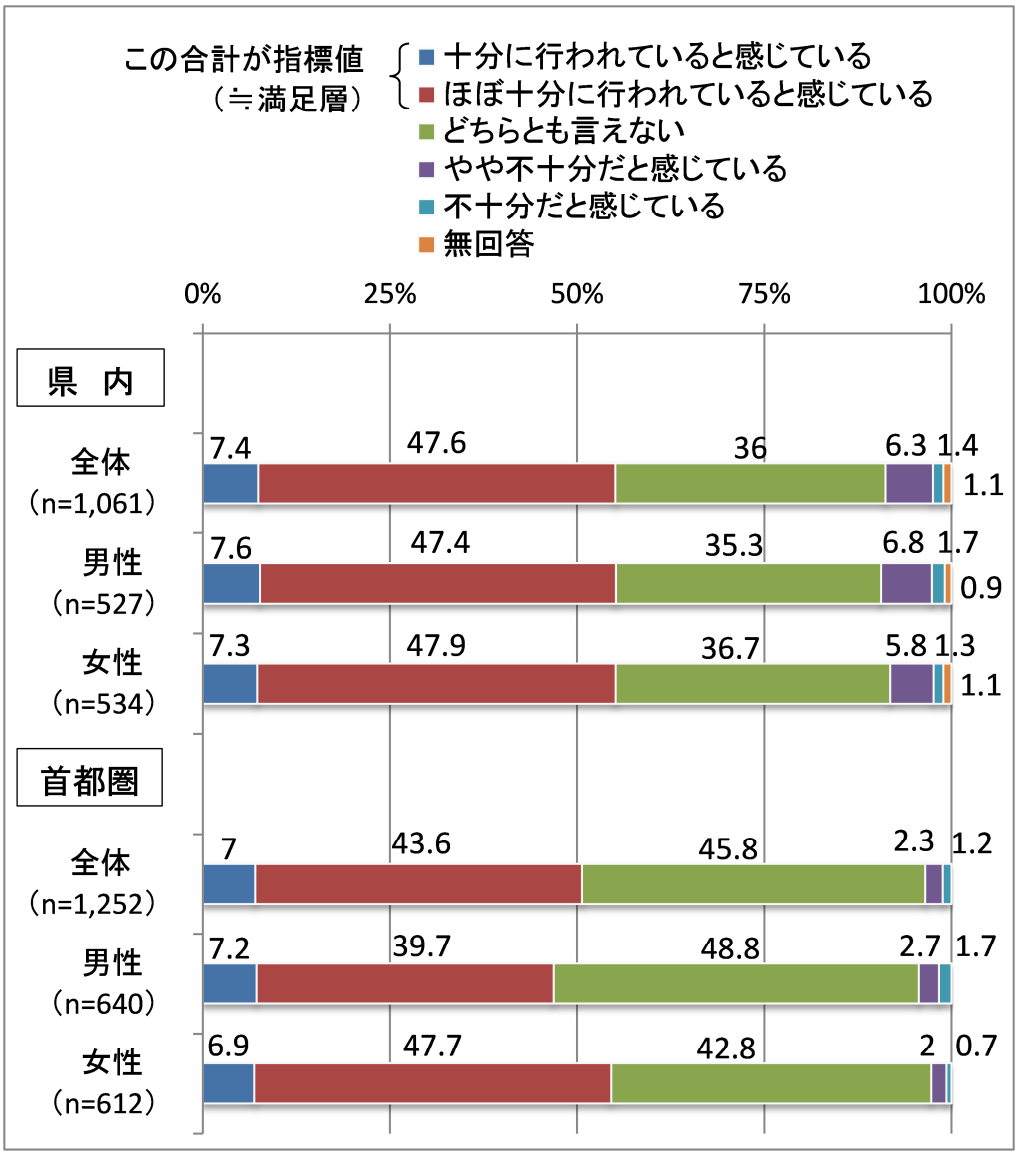
年度	県民意識調査（注1）		首都圏調査（注2）	
	人数	調査期間	人数	調査期間
18	1,169	H19.1.26～2.8	1,262	H19.2.1～2.4
19	1,075	H19.8.17～9.3	1,240	H19.8.20～8.23
20	1,233	H20.11.4～11.14	1,252	H20.11.4～11.7
21	1,239	H21.10.13～10.26	1,252	H21.10.13～10.14
22	1,211	H22.10.13～10.26	1,252	H22.10.13～10.14
23	1,166	H23.10.18～10.31	1,252	H23.10.25～10.26
24	1,061	H24.10.27～11.11	1,252	H24.10.30～10.31

注１）県民意識調査の対象は、新潟県に住む 20～75 歳の男女【郵送調査】
注２）首都圏調査の対象は、東京、神奈川、千葉、埼玉に住む男女【インターネット調査】
（H18 は 20～59 歳、H19～24 は 20～69 歳）

【平成 18～24 年度の動向】



【24 年度結果の男女比較】



・県内では、男女で差があまり見られない。

・首都圏では、女性のほうが満足層（「十分」及び「ほぼ十分」）の割合がやや高い。

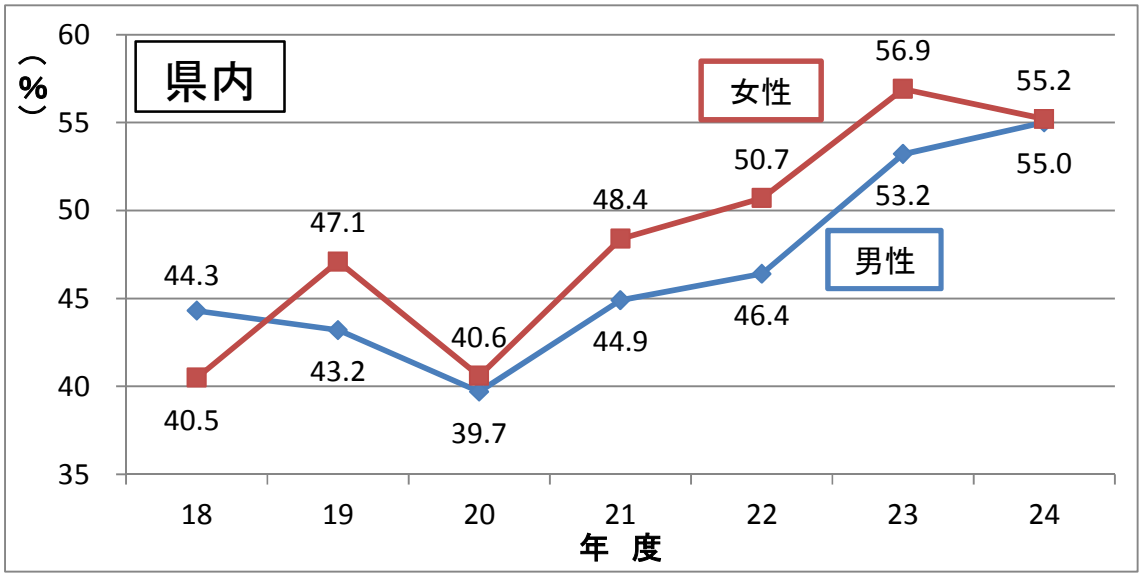
〈補足〉

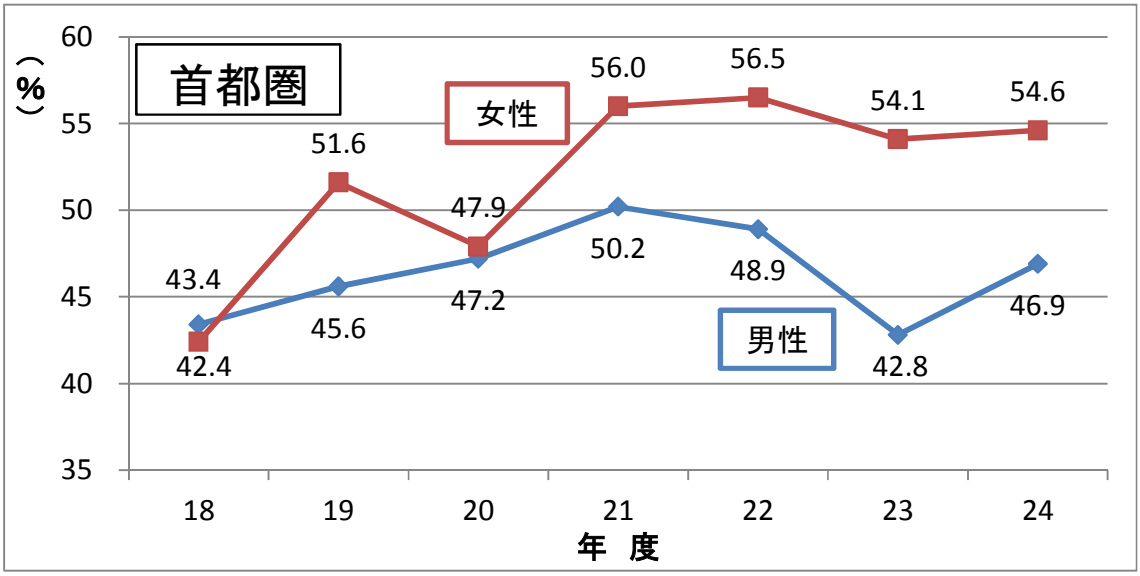
18～23 年度結果では、18 年度は県内・首都圏とも男性のほうが満足層の割合がやや高かったが、19 年度以降は、女性のほうが満足層の割合が高い傾向が見られる。

（次ページ参考データのとおり）

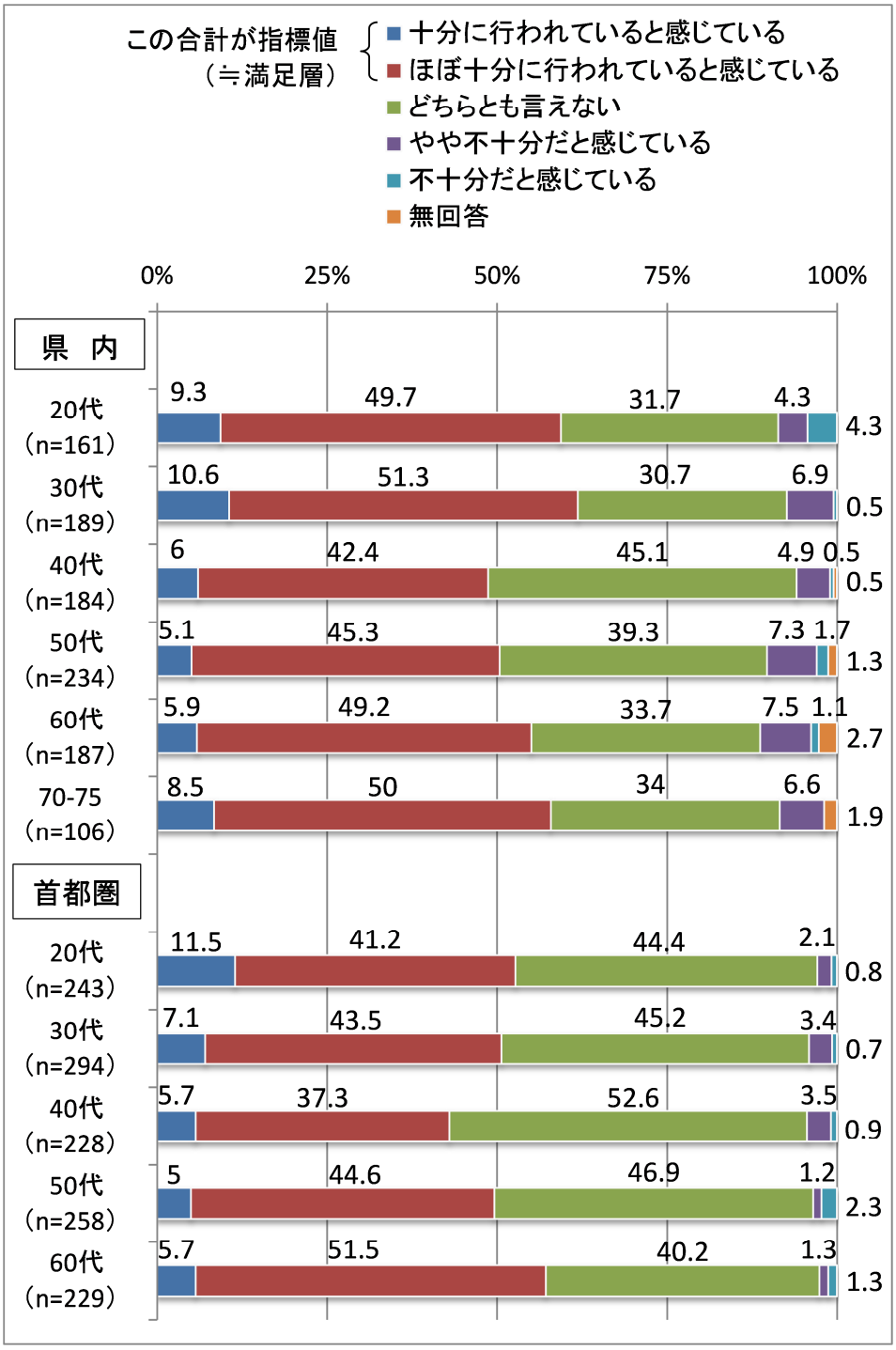
参考データ

18～24 年度意識調査における満足層（「十分」及び「ほぼ十分」）の男女別動向





【24 年度結果の年代比較】



・県内・首都圏とも、40 代の満足層（「十分」及び「ほぼ十分」）の割合がやや低い。

〈補足〉

18～23 年度結果では、満足層の割合が最も低い年代は 20～60 代の間で変動しており、同年度で県内と首都圏で結果が異なることが多く、一定の傾向は見られない。